

# I 調査結果の概要

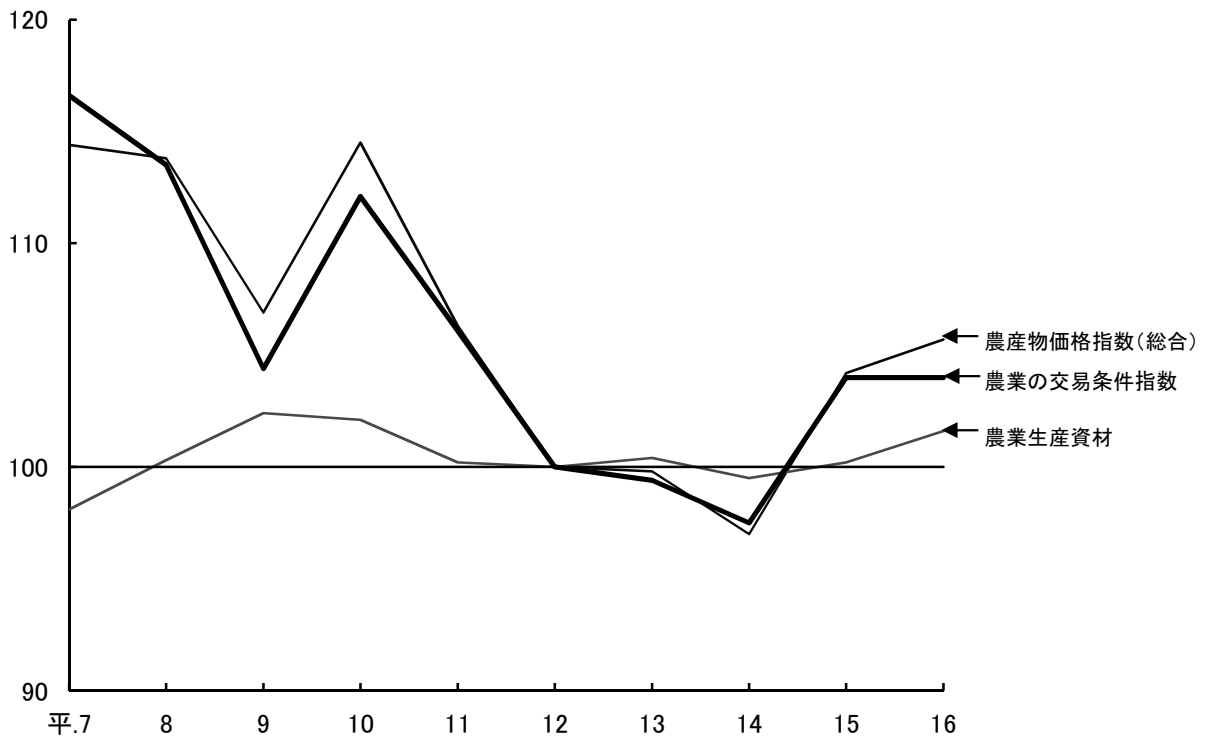
# 1 農業物価指数

## (1) 概況

平成16年の農産物価格指数（平成12年を100とする。以下同じ。）の総合は105.7となり、前年に比べて1.4%上昇した。また、農業生産資材価格指数の総合は101.6となり、前年に比べて1.4%上昇した。

この結果、農業の交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は104.0となり、前年と同水準となった。

図1 農業物価指数の推移(平成12年=100)



第1表 農業物価指数の推移

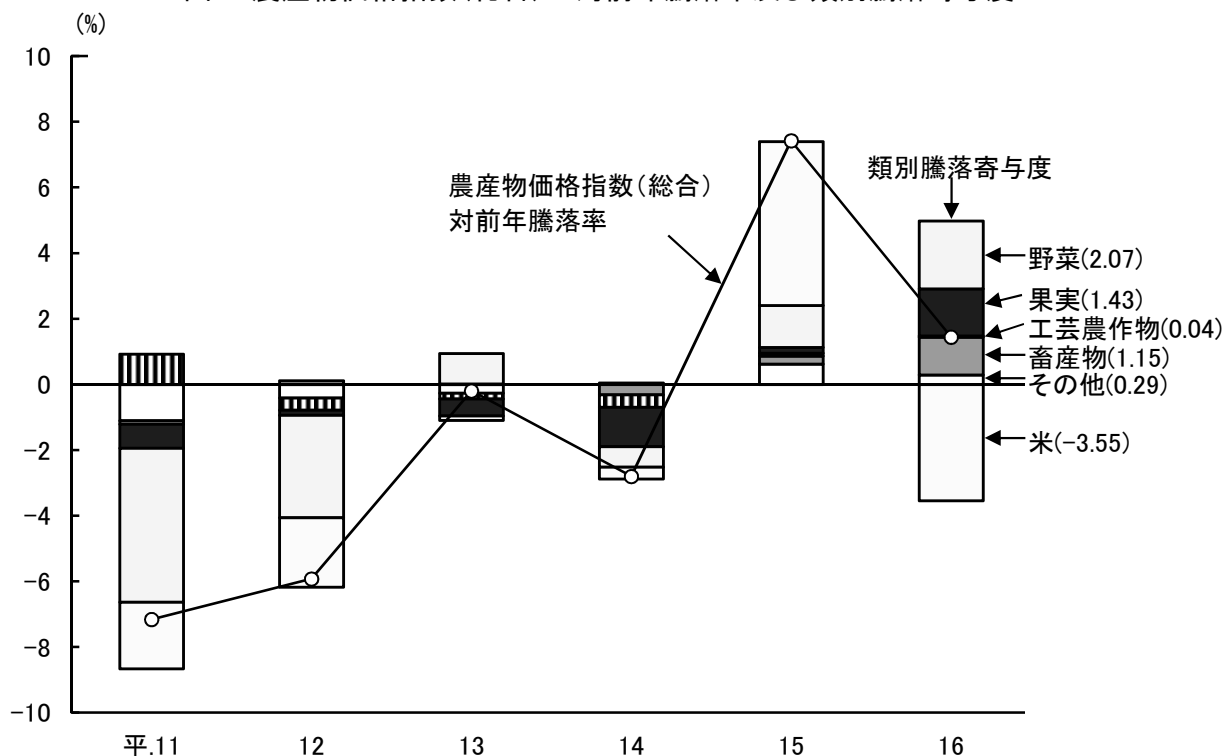
		平成12年=100				
区	分	平. 12	13	14	15	16
農産物価格指数(総合)	①	100.0	99.8	97.0	104.2	105.7
農業生産資材価格指数(総合)	②	100.0	100.4	99.5	100.2	101.6
農業の交易条件指数	①/②×100	100.0	99.4	97.5	104.0	104.0

## (2) 農産物価格指数

平成16年の農産物価格指数（総合）は105.7となり、前年に比べて1.4%上昇した。

これは、米の価格は低下したものの、野菜、果実が台風被害等により、肉用牛などの畜産物が輸入量の減少等により、それぞれ価格が上昇したこと等による。

図2 農産物価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



注：騰落寄与度とは、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものである。

### ア 米

米は11.6%低下した。これは、16年産米が値下がりしたこと等による。

### イ 野菜

野菜は8.4%上昇した。これは、台風の被害等により、はくさい、レタスなどの葉茎菜類の出荷量が減少し、値上がりしたこと等による。

### ウ 果実

果実は16.1%上昇した。これは、りんご、みかんなどの出荷量が減少し、値上がりしたこと等による。

第2表 農産物価格指数の推移

平成12年=100

農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率(%)		騰落寄与度(%)	
		平.15年	16	平.15年	16	平.15年	16
農産物総合	10 000	104.2	105.7	7.4	1.4	7.42	1.44
米	2 737	115.9	102.4	18.0	△11.6	4.99	△ 3.55
麦	189	94.4	89.4	△ 2.9	△ 5.3	△ 0.05	△ 0.09
豆	99	101.4	113.9	11.1	12.3	0.10	0.12
いも	166	106.1	105.0	32.3	△ 1.0	0.44	△ 0.02
野菜	2 420	106.3	115.2	5.0	8.4	1.27	2.07
果菜	1 215	103.9	105.5	3.3	1.5	0.41	0.19
葉茎菜	824	108.8	129.0	9.7	18.6	0.82	1.60
根菜	307	108.0	113.7	1.1	5.3	0.04	0.17
まめ科野菜	74	110.9	128.2	1.2	15.6	0.01	0.12
果実	1 083	85.8	99.6	1.9	16.1	0.18	1.43
工芸農作物	513	90.9	91.7	1.9	0.9	0.09	0.04
花き	678	105.7	109.9	1.8	4.0	0.13	0.27
畜産物	2 103	99.7	105.4	1.1	5.7	0.24	1.15
鶏卵	178	79.5	92.0	△13.3	15.7	△ 0.22	0.21
生乳	834	102.0	101.5	1.2	△ 0.5	0.10	△ 0.04
肉蓄	778	98.7	107.8	△ 1.6	9.2	△ 0.13	0.68
子畜	277	107.8	118.3	16.3	9.7	0.43	0.28
成畜	29	103.5	110.0	18.2	6.3	0.05	0.02
繭	7	109.2	105.3	△ 0.8	△ 3.6	△ 0.00	△ 0.00
稲わら	12	93.0	99.9	△ 0.6	7.4	△ 0.00	0.01

注:騰落寄与度は、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものであり、算式は次のとおり(以下同じ)。

$$\text{騰落寄与度(％)} = \frac{\text{類}((\text{当年指数} - \text{前年指数}) \times \text{ウエイト})}{\text{総合}(\text{前年指数} \times \text{ウエイト})} \times 100$$

エ 工芸農作物

工芸農作物は0.9%上昇した。これは、茶が値上がりしたこと等による。

オ 花き

花きは4.0%上昇した。これは、切り花類が値上がりしたこと等による。

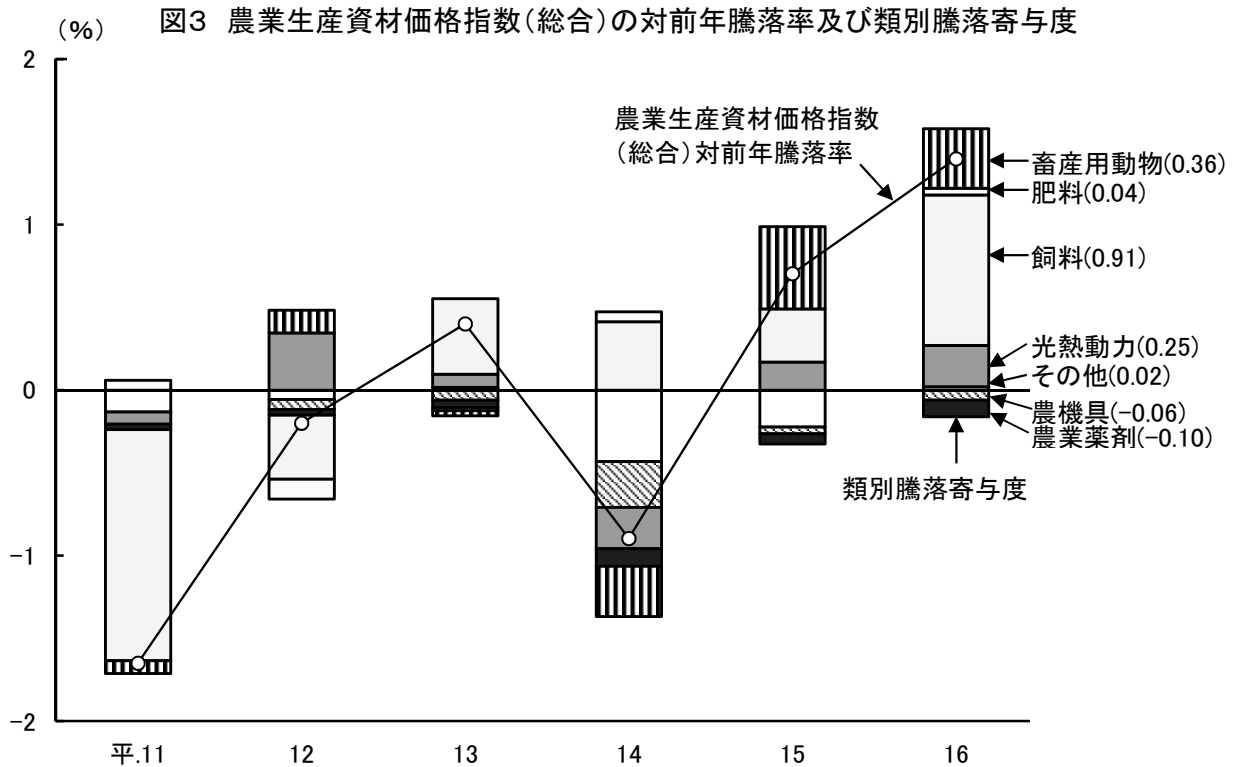
カ 畜産物

畜産物は5.7%上昇した。これは、鶏卵が出荷量の減少等により、肉用牛などの肉畜が輸入量の減少等により、それぞれ値上がりしたこと等による。

### (3) 農業生産資材価格指数

平成16年の農業生産資材価格指数(総合)は101.6となり、前年に比べて1.4%上昇した。

これは、農業薬剤及び農機具の価格は低下したものの、子牛、飼料及び光熱動力の価格が上昇したこと等による。



注：騰落寄与度とは、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものである。

#### ア 畜産用動物

畜産用動物は7.8%上昇した。これは、肉用牛子牛などの価格が上昇したこと等による。

#### イ 肥料

肥料は0.4%上昇した。

#### ウ 飼料

飼料は6.1%上昇した。これは、配合飼料の原料価格が上昇したこと等による。

#### エ 農業薬剤

農業薬剤は1.1%低下した。これは、メーカー出荷価格が引き下げられたこと等による。

#### オ 光熱動力

光熱動力は3.4%上昇した。これは、原油価格が上昇したこと等による。

#### カ 農機具

農機具は0.3%低下した。

第3表 農業生産資材価格指数の推移

平成12年=100

農業生産資材	ウエイト	指数		対前年騰落率 (%)		騰落寄与度 (%)	
		平. 15年	16	平. 15年	16	平. 15年	16
農業生産資材総合	10 000	100.2	101.6	0.7	1.4	0.70	1.40
種苗及び苗木	585	100.6	101.1	△ 0.1	0.5	△ 0.01	0.03
畜産用動物	443	103.6	111.7	12.1	7.8	0.50	0.36
肥料	1 014	100.4	100.8	0.0	0.4	0.00	0.04
飼料	1 383	108.6	115.2	2.2	6.1	0.32	0.91
農業薬剤	884	97.6	96.5	△ 0.7	△ 1.1	△ 0.06	△ 0.10
諸材料	764	97.0	96.9	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.06	△ 0.01
光熱動力	737	100.0	103.4	2.4	3.4	0.17	0.25
農機具	1 990	98.1	97.8	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.04	△ 0.06
自動車・同関係料金	509	98.5	98.6	△ 0.4	0.1	△ 0.02	0.01
建築資材	569	95.9	95.5	△ 1.4	△ 0.4	△ 0.08	△ 0.02
農用被服	49	98.8	98.2	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.00	△ 0.00
賃借料及び料金	1 073	98.8	98.9	△ 0.5	0.1	△ 0.05	0.01

2 農業臨時雇賃金

平成16年の農業臨時雇賃金指数は、男は100.0（1日当たり8,649円）、女は100.4（1日当たり6,520円）となり、前年に比べて男は0.2%低下し、女は同水準となった。

第4表 農業臨時雇賃金（1日当たり）の推移

平成12年=100

年次	男			女		
	指数	対前年騰落率	全国平均賃金	指数	対前年騰落率	全国平均賃金
平. 11年	100.9	0.4	8 729	100.2	0.5	6 505
12	100.0	△ 0.9	8 652	100.0	△ 0.2	6 495
13	100.1	0.1	8 659	100.2	0.2	6 506
14	100.1	0.0	8 663	100.3	0.1	6 517
15	100.2	0.1	8 671	100.4	0.1	6 522
16	100.0	△ 0.2	8 649	100.4	0.0	6 520